

1 現状と課題

〔現 状〕

- 本県では、企業へのI o T[※]等の導入促進を図ってきたところであり、山口県産業技術センター[※]への「I o Tビジネス創出支援拠点[※]」の設置や大手通信事業者との連携協定の締結、やまぐちスマートファクトリーモデル構築事業[※]等の創設や、やまぐち産業イノベーション促進補助金[※]の活用等により、きめ細かな支援を実施
- その結果、本県の中小企業におけるI o T導入率について、3.9%（平成28年度（2016年度））から13.9%（令和元年度（2019年度））に向上するなど、着実に成果を上げているところ
- 一方、AI[※]、I o Tなどのデジタル技術は急速な発展を遂げており、新型コロナウイルス感染症[※]の拡がりも相まって、デジタルトランスフォーメーション（DX）[※]の実現に向けた社会変革の動きが一層加速

＜本県の取組状況（ものづくり分野）＞

〔技術支援に係るプラットフォーム構築〕

- ・ 「I o Tビジネス創出支援拠点」の設置（平成30年（2018年）11月）・運営

〔先進的事例の創出、実証・研究開発の促進〕

- ・ NTTドコモ（令和元年（2019年）9月）、NTT西日本（令和2年（2020年）4月）との連携協定の締結、実証実験の実施
- ・ やまぐちスマートファクトリーモデル構築事業、やまぐち産業イノベーション促進補助金等による先進事例の創出、研究開発の促進

〔課題と方向性〕

- 産業競争力の維持・強化のためDXの実現が求められている中、地方においてDXを進めるためには、基盤となる5G[※]等の情報通信インフラの整備促進や企業等の取組を支援する体制整備が必要
- 少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少等の課題を抱える地方において、将来に向けて経済の持続的成長・発展を図るためには、未来技術[※]の導入・利活用による生産性の向上や新たな付加価値の創出を目指すとともに、新型コロナウイルス感染症を契機とした、デジタル投資の急速な拡大も見据えた新たなイノベーション[※]を創出していくことが必要
- DX推進に向けては、デジタル技術等に精通した人材やデジタル技術を活用してイノベーションを創出できる人材が不可欠であることから、DX推進を担う人材を育成・確保していくことが必要

2 プロジェクトの概要

DX^{*}推進のための拠点・基盤整備

- 民間との連携による全県的なDX推進拠点の整備・運営(相談対応、技術・ソリューション提供等)
- DXを支える情報通信インフラの整備促進(5G^{*}基地局の整備促進に向けた公共施設などの活用等)

未来技術^{*}を活用した新たなイノベーション^{*}創出に向けた支援

- 県内ものづくり技術と5G^{*}、AI^{*}等の未来技術によるクロステックイノベーション^{*}の創出促進
- セミナー・ワークショップの開催、IoT^{*}基盤の提供、コーディネータの配置など、IoTビジネス創出支援拠点^{*}を核とした支援
- 国、県、関係機関による補助、融資等による新技術・製品等の研究開発支援

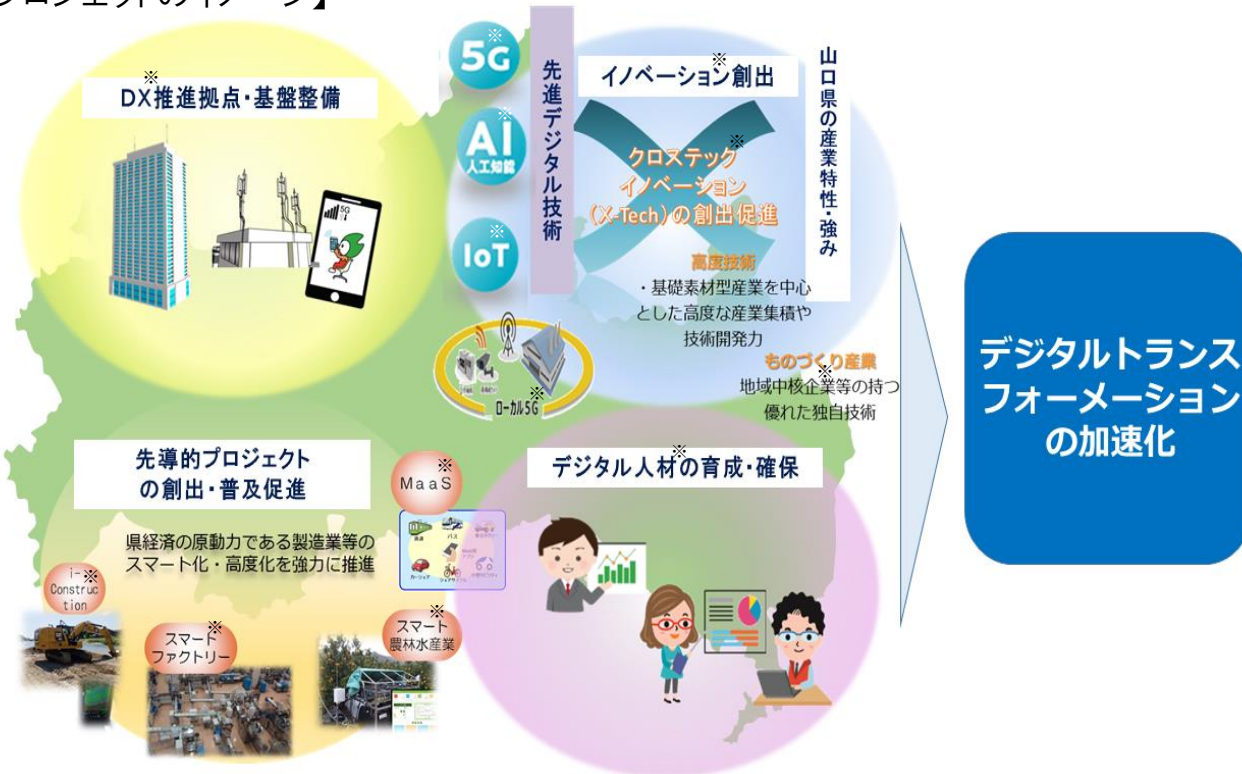
生産性の向上等に資する未来技術を活用した先導的プロジェクトの創出、普及促進

- 大手通信事業者との連携協定に基づく実証事業の実施や普及促進(スマートファクトリー^{*}、スマートコンビニ^{*}等)
- 大手通信事業者との連携や各種施策の活用による、ローカル5G^{*}の普及・利活用促進
- 大手IT企業等で構成するやまぐちIoT導入サポーター^{*}等による導入・利活用支援
- 各産業分野における未来技術の利活用促進(MaaS^{*}、スマート農林水産業^{*}、i-Construction^{*}等)

DX推進を担うデジタル人材^{*}の育成・確保

- DX推進拠点におけるイノベーションを生み出すデジタル人材の育成支援
- IoTビジネス創出支援拠点での企業間技術交流の促進による人材の育成
- 地元大学と連携した人材育成支援(専門カリキュラムの受講支援・ケーススタディの実施)
- 関係機関と連携した研修及び研修受講への支援の実施
- プロフェッショナル人材戦略拠点^{*}等による専門人材の確保

【プロジェクトのイメージ】



3 工程表

取組	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
DX※推進のための拠点・基盤整備	<DX推進拠点の整備・運営> ・ 相談対応、技術・ソリューション提供等	→	
	<情報通信インフラの整備促進> ・ 5G※基地局の整備促進に向けた公共施設などの活用等	→	
未来技術※を活用した新たなイノベーション※創出に向けた支援	<未来技術の利活用によるクロステックイノベーション※の創出促進> ・ 県内ものづくり技術と5G、AI※等未来技術の融合によるイノベーションの創出促進	→	
	<IoTビジネス創出支援拠点※を核とした支援> ・ セミナー・ワークショップの開催、IoT※基盤の提供、コーディネータによる総合支援	→	
	<新技術・製品等の開発促進> ・ 国・県関係機関による補助、融資等による研究開発支援	→	

<p>生産性の向上等に資する未来技術※を活用した先導的プロジェクトの創出、普及促進</p>	<p><大手通信事業者との連携協定に基づく実証実験の実施や普及促進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートファクトリー※、スマートコンビナート※等をテーマとした実証事業の推進 ・ニーズ・シーズのマッチングの実施、国・県・関係機関による委託・補助、融資等による支援 		
	<p><ローカル5G※の普及・利活用促進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大手通信事業者との連携や各種施策の活用による普及・利活用促進 		
	<p><やまぐちIoT導入サポーター※等による導入・利活用支援></p>		
<p>主な産業分野での利活用の取組</p>	<p>山口市産業交流拠点を核とした新たなモビリティサービス(MaaS※)の導入促進</p>	<p><MaaS実証実験の実施及び社会実装、自走の推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新モビリティサービス実証事業推進協議会の運営 ・山口市産業交流拠点施設を核とした新たなモビリティサービスの導入に向けた実証実験の実施及び社会実装、自走の推進 ・実証事業成果の他地域への横展開 	
	<p>スマート農林水産業※の推進</p>	<p><先端・先進技術を活用した農林水産業の生産性向上></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマート農機等の導入による農業の生産性向上 ・ICTやドローンを活用した効率的な木材供給システムの構築 ・衛星データ等ビッグデータ※とAI※を活用した漁業の生産性向上 等 	
	<p>i-Construction※の推進</p>	<p><AI・i-Constructionの推進による建設産業の生産性向上></p> <ul style="list-style-type: none"> ・AIを活用した橋梁点検・診断による作業の効率化 ・3次元モデルを活用した建設生産・管理プロセスの効率化・高度化 ・ICT活用工事、建設工事リモート管理の促進 ・セミナーの開催等によるICT技術者の養成 等 	
<p>DX推進を担うデジタル人材※の育成・確保</p>	<p><DX推進を担うデジタル人材の育成・確保></p> <ul style="list-style-type: none"> ・DX推進拠点でのイノベーションを生み出すデジタル人材の育成支援 ・IoTビジネス創出支援拠点※での企業間技術交流の促進による人材の育成 ・地元大学と連携した人材育成支援 ・関係機関と連携した研修及び研修受講への支援の実施 ・プロフェッショナル人材戦略拠点※等による専門人材の確保 		

4 取組目標（指標）

指標名	現状値		令和5年度（2023年度）目標値
	数値	基準年/年度	
5G基盤展開率※	0%		98%以上
先導的プロジェクトによる未来技術※導入件数(累計)	1件	令和元年度(2019年度)	20件
中小企業のIoT※導入率	13.9%		24.0%